



# 高鍋町

ぶらっと

歴史を  
巡ろう



高鍋町

# 「歴史」と「文教」のまち

# たかなべ

## 高鍋町の歴史

高鍋町は宮崎県の中央沿岸部に位置する、宮崎県内で最も小さな町です。海と山に囲まれた自然豊かな環境の下で、旧石器時代から人々が生活し、現代にいたるまで深い歴史が刻まれてきました。藩政時代には、高鍋三万石の城下町として栄え、学問と教育の盛んなところとして有名でした。なかでも7代藩主の秋月種茂公が設立した藩校「明倫堂」は、法曹界の重鎮と呼ばれた三好退蔵や、オーストリア大使で後に読売新聞社長となった秋月左都夫、住友を大財閥に育て上げた鈴木馬左也、2,200人ももの孤児の父となった石井十次など、多くの優秀な人材を世に輩出したことから、「文教の町」とも呼ばれます。現在でも地名や街並みに城下町の名残があり、秋月種茂公が残した明倫の精神や先賢の教えは、学校教育や政まづりに取り入れられ脈々と受け継がれています。

## 秋月種茂公

名君として讃えられる「秋月種茂公」は、1743年に6代藩主の種美公の長男として生まれました。7代藩主となった後は、慣例にとられない施策を次々に実施し、財政の再建と、高鍋藩の発展に力を尽くしました。代表的なものは「児童手当制度」です。農家の子ども3人目から、1日につき、米2合または麦3合を与えるという制度を作り上げ、福祉文化的土壌を整えました。また、教育に最も力を注ぎました。藩士だけでなく農民も、身分に関係なく入学できることが特徴である藩校「明倫堂」を設立し、一般庶民にも学ぶ機会を与えることで、領民全体の教育水準を高めました。この明倫堂からは後に多くの先賢が輩出されました。高鍋藩から上杉家の養子となり、米沢藩の財政を建て直した「上杉鷹山公」の実の兄にあたります。

高鍋城本丸跡。礎石が残っています。春には桜や梅の花が咲き、秋には灯笼で彩られます。



高鍋町美術館入口にある秋月種茂公の胸像。



上杉鷹山公の肖像。幼少の頃に、上杉家に迎えられ、米沢藩を建て直しました。

## 舞鶴公園

かつて町の西側にある丘陵に築かれていた高鍋城の跡地を整備した公園です。高鍋城には天正15年(1587年)より秋月氏が居城し、その地形がはばたく鶴に似ていることから「舞鶴城」とも呼ばれました。廃藩置県(1871年)以降、高鍋城は取り壊されましたが、石垣や城堀など一部は当時のまま残されています。現在は緑に囲まれた憩いの場となっており、年間を通していろいろなイベントの会場として親しまれています。また、敷地内には歴史総合資料館や多くの史跡があり、歴史を感じさせます。



正面階段を登ると二の丸の正門「岩坂門跡」がある。

## 舞鶴神社(舞鶴公園内)

明治4年、高鍋城内にあった5つの神社を合祀し、社を建てました。

## 高鍋のクス

樹齢はおよそ500年。昭和26年に国指定天然記念物となりました。

## 城堀緑地

高鍋城の城堀。宮崎県内で唯一豊かな水をたたえる城堀で、ほぼ当時の姿をとどめています。町民の散歩道としても親しまれ、初夏にはハスの花が咲きます。



秋月家11代当主、種樹公の住家である萬歳亭のはなれを復元したものです。当時は種樹公の次男である種英公が書齋として愛用しました。



水琴窟。水をそそぐと琴のような音色を響かせます。



## 詩碑「帰国途上の所感」

十次が岡山孤児院を宮崎県茶臼原に移転する準備をするため、里帰りする船上でうたった三連の詩が刻み込まれています。この詩の中で、十次のふるさとである高鍋こそ、教育の場として最もすぐれた所とされています。

ア、美なるかな日向の地  
予は実に爾を愛す  
ア、壮なるかな太平洋  
予は実に爾を愛す  
南北四十里東西二十里なる  
日向の原野よ  
爾は予等イスラエルのために  
備えられたるカナンにあらずや  
人間はその境遇によって  
教育せらるるものとせば  
爾高鍋よ、爾は予が  
理想的人物を養成するに於て  
最も適當のところなり  
ア、美なるかな尾鈴山  
ア、壮なるかな太平洋



高鍋町美術館にある詩碑。



高鍋高校にある詩碑。

## 秋月墓地

高鍋藩主秋月氏の菩提寺の名前をとって、「大龍寺墓地」「安養寺墓地」「龍雲寺墓地」と呼ばれます。いずれも高鍋城の北側台地斜面にありました。明治初期の廃仏毀釈により菩提寺は取り壊され、現在は歴代藩主と一族の墓のほか、重臣の墓があります。



## 石井十次

我が国の児童福祉の先駆者で、生涯孤児の救済に捧げました。十次は慶応元年(1865年)4月、宮崎県児湯郡高鍋町馬場原に生まれました。医学を志して勉強し、明治20年4月、病氣療養と医学の实地研究のため、岡山県の診療所に移りました。その際、隣接する大師堂で1人の男児を預かったことをきっかけに6年間勉強した医学書を焼き、孤児教育に専念することを誓いました。

岡山孤児院創設後、明治24年の濃尾大震災や、明治39年の東北地方大飢饉時に多くの孤児を収容し、一時は在院孤児が1,200名を超えることもありました。明治41年には本拠地を岡山市から、宮崎県の茶臼原にあった分院へ移し、大自然の中で農業的生活教育を行いました。大正3年、48歳の若さでこの世を去りました。十次が生産で救済した孤児は、2,200名以上にもなりました。



石井十次銅像(高鍋町中央公園)

## 高鍋町歴史総合資料館

舞鶴公園内に位置し、豊臣秀吉の朱印状や藩校「明倫堂」の扁額、令和3年7月に日本遺産に追加認定された持田古墳群から出土した石棺など、豊富な文化財展示のほか、高鍋町の農村生活様式などの民俗資料や、古代から中世、藩政時代を伝える歴史資料が展示・収蔵されています。

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】毎週月曜日(祝日を除く)  
祝日の翌日(土、日、祝日を除く)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
【料 金】大人：210円  
小中高生高齢者70才以上：100円  
障がい者およびその介助者：100円  
小学生未満：無料  
※20名以上の団体は団体料金が適用されます。

問合せ先  
高鍋町歴史総合資料館  
TEL 0983-331322



第一展示室(1階)。大昔の高鍋、中世・近世・近代と時代を追って歴史の流れを資料でたどります。また、高鍋の偉人たちにまつわる資料も展示されています。



第二展示室(2階)。伝統的な茶室で、川高の6が、生活文化を展示。稲作・高家・山生・農家・山生・農家・山生・農家などの復元コーナーがあります。

## 高鍋町指定有形文化財黒水家住宅

秋月氏の家老職を勤めた黒水家の住宅で、建築年代は文化・文政頃(1804～1827年)と推測されています。主屋は鍵座敷になった寄棟造り茅葺で、内部は武家屋敷ならではの特徴ある構造になっており、当時の生活様式が垣間見ることが出来ます。敷地内の初蔵は、西南戦争の際に参戦に反対した9人の名士、九烈士を監禁する仮の牢屋として使われました。

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】毎週月曜日(祝日を除く)  
祝日の翌日(土、日、祝日を除く)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
【料 金】大人：100円  
小中高生高齢者70才以上：50円  
障がい者およびその介助者：50円  
小学生未満：無料  
※20名以上の団体は団体料金が適用されます。

## 高鍋町指定有形文化財黒水家住宅



初蔵には九烈士が監禁されました。内部には戦争当時の様子を描いた絵画や資料が並びます。



来客用に使用された玄関。住人用の玄関は別にある、武家屋敷ならではの構造です。

## 石井十次生家

十次が岡山県医学校に入学するまで育った家で、木造瓦葺きの平屋です。現在は、親族の方々によって管理されており、外観のみ見学することが出来ます。



# 高鍋町

# 観光

Spot!

## ◆高鍋大師・持田古墳群(日本遺産)

小丸川の北側に広がる台地に、国指定史跡である持田古墳群があります。この古墳群は、4〜6世紀頃に造られたと推定され、重要な文化財である画文帝神祇鏡や変形四鎖鎌など貴重な歴史資料が出土しています。

その一角に位置する高鍋大師は、岩岡保吉氏が古墳の霊を鎮める意を込めて制作したものです。岩岡氏は生涯をかけて700余体の石像を制作しました。大小さまざまな石像がいくつもあり立ち並ぶ様子は圧巻で、なかには高さが7メートルを超す大きな石像もあります。また、晴れた日には日向灘を一望できる絶景地です。



持田古墳群。古墳の総数は85基。生活の中に溶け込んだ古墳群。

## ◆高鍋海水浴場・キャンプ村

昭和28年の開設以来、無事故を誇る安心・安全な海水浴場です。水質がきれいなことから環境省が指定する「快水浴場百選」に選ばれています。快水浴場百選にはマリンスポーツ場が併設され、ジェットスキー体験やトーイングチューブが楽しめます。ビーチで楽しめるイベントも企画され、多くの参加者で賑わいます。

また、海水浴場に隣接して潮騒を聴きながら休めるキャンプ場があります。



## ◆蚊口浜サーフィン場

海水浴場の南側に位置するサーフィン場です。日向灘から吹く風が絶好の波を作り、年間を通して県内外から多くのサーファーが訪れます。駐車場、水洗トイレ、無料温水シャワーを完備しており、快適にマリンスポーツを楽しむことができます。



巨大な石像が並びます。

【開設期間】 海水浴場……7月中旬〜8月下旬  
サーフィン場……通年

問い合わせ先 認定NPO法人 高鍋町観光協会  
TEL 0983-22-5588

## ◆高鍋温泉めいりんの湯

2つのタイプの浴場は週替わりで男湯と女湯が交代するので、どちらも楽しむことができます。かけ流し式で供給された温泉は、常に新鮮なお湯が流れ、清潔に保たれています。

売店では、スイーツや地元で獲れた新鮮な野菜を販売しています。温泉でリフレッシュした後は、御食事処「高藍(こうらん)」で、素材の味を生かした料理を緑の景色を眺めながら楽しむことができます。

温泉西側の「めいりん公園」にはRVパークが開設されており、キャンピングカーでの乗り入れ・宿泊が可能です。

## 高鍋温泉めいりんの湯

問い合わせ先

TEL 0983-26-2015

- 【泉質】 ナトリウム塩化物温泉
- 【効能】 浴用(神経痛・冷え性・皮膚病など)
- 【営業時間】 午前8時〜午後8時
- 【休館日】 木曜日・金曜日
- 【料金】 一般(中学生以上)……600円  
小人(小学生)……300円  
幼児……無料

## ◆四季彩のむら

昭和30年代の農村風景が広がり、れんげや菜の花といった草花や、稲作、収穫風景などなつかしい景色に出会える場所です。昔ながらの里山に棚田が現存し、四季折々の風景が楽しめます。

また、ここで収穫された農産物は「高鍋温泉めいりんの湯」でも販売されます。



昭和30年代の農村風景を再現。

## ◆高鍋湿原

昭和37年から昭和42年にかけて行われた県営高鍋防犯ダム工事の掘り下げたところへ、近くの山林からの湧水が流れ込み、湿原になりました。翼を広げたシロサギの姿を思わせるサギソウや、耳かきに似た小さな黄色い花を咲かせるミミカキグサ、世界で伊勢湾周辺とこの高鍋や川南町でしか見られないというヘビノボラスなど、400種を超える植物が群生しています。また、世界最小クラスの体長2センチメートルのハッチョウトンボなど希少な昆虫も生息しています。総面積は3.2ヘクタールあり、訪れるたびにいつも違った景色を楽しめます。



東部湿原と西部湿原をつなぐ「トンボの橋」

## ◆高鍋町美術館

日本美術や西洋美術、工芸や彫刻、版画まで幅広い作品を収蔵・展示しており、特別展・企画展などの展覧会を年間通して随時開催しているほか、演奏会や映画鑑賞といった文化活動を行う場として利用されています。

館内は、常設展示室に加えて、個人でも利用できる企画展示室や多目的ホール、実習室、図書室を備え、「心」を表現する場、「心の発信基地」として親しまれています。

【開館時間】 午前10時〜午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

【休館日】 毎週月曜日(祝日を除く)

祝日の翌日(土日、祝日を除く)

年末年始(12月28日〜1月4日)

【常設展観覧料】

大人:210円(170円)

小中高生・高齢者(70才以上)

障がい者

およびその介助者:100円(80円)

未就学児と高鍋町内の小中高生

および特別支援学校生は無料

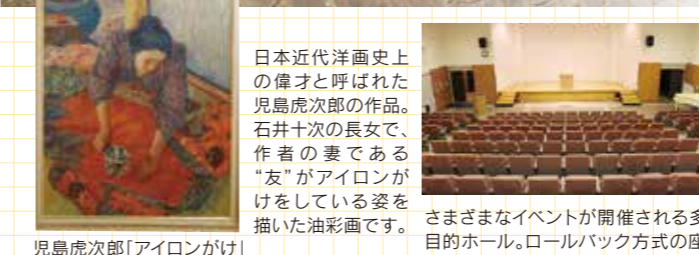
※(内は20名以上の団体料金です。)

※特別展・企画展は内容により料金が異なります。

問い合わせ先

高鍋町美術館

TEL 0983-23-8887



児島虎次郎「アイロンがけ」油彩60号

日本近代洋画史上の偉才と呼ばれた児島虎次郎の作品。石井十次郎の長女で、作者の妻である「友」がアイロンがけをしている姿を描いた油彩画です。



さまざまなイベントが開催される多目的ホール。ロールバック方式の座席を備え、242名を収容できます。

## ◆九州オルレ

### 「宮崎・小丸川コース」

九州オルレとは、韓国済州島発祥のトレッキングコンテンツの九州版です。

九州内で18コースあり、2020年1月に「宮崎・小丸川コース」が認定されました。このコースは、高鍋町・木城町・美郷町・日向市に伝わる百済王族伝説をモチーフに、木城町の比木神社から高鍋町の大神社までをつなぐコースです。

川・山・海をめぐる、今に伝わる歴史に思いをはせながら、豊かな自然の景観をお楽しみください。



チェックポイントの目印「カンセ(馬)」



分岐点の矢印

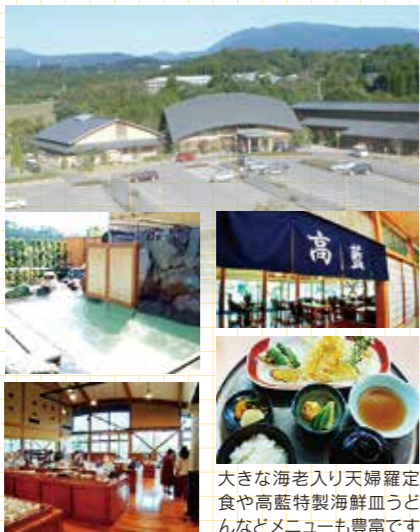


コース上のリボンを探しながら歩きます。



スタート地点の比木神社

## ◆RVパーク



大きな海老入り天婦羅定食や高藍特製海鮮血うどんなどメニューも豊富です。



整備された遊歩道。田畑や木々の中を散歩することができます。



季節に合わせて農村体験を行っています。



サギソウ(7月〜8月)



ハッチョウトンボ(オス)(5月〜8月)



コースのなかで高鍋大師も通ります。



【RVパーク利用料金】  
駐車場1台/泊……1,530円  
電源設備1基/泊……510円  
(消費税を含む)

問い合わせ先  
高鍋町役場  
地域政策課商工観光係  
TEL 0983-26-2015



季節に合わせて農村体験を行っています。



サギソウ(7月〜8月)



ハッチョウトンボ(オス)(5月〜8月)



コースのなかで高鍋大師も通ります。

**たかなべ  
観光  
マップ**

**高鍋町のデータ**

- ◆人口 19,327人(令和5年5月現在)
- ◆面積 43.80km<sup>2</sup>(宮崎県内の自治体では最小)
- ◆特産品 餃子・天然カキ・白菜・キャベツ(宮崎県内一の生産量)・茶・焼酎・酒類



公共交通機関連絡先(市外局番:0983)

高鍋バスセンター	23-0027
日の丸タクシー	23-0021
宮交タクシー	23-0026
三和交通	23-3939
J R 高鍋駅	23-0051
トヨタレンタカー高鍋店	22-0100

延岡市  
JR日豊本線約60分  
東九州自動車道  
国道10号約70分

高鍋町  
JR日豊本線約30分  
東九州自動車道  
国道10号約50分  
宮崎自動車道  
西都市  
東九州自動車道  
清武JCT



町内宿泊施設連絡先(市外局番:0983)

ホテル四季亭	23-0043
HOTELAZ 宮崎高鍋店	21-1200
ホテル泉屋	22-3366
石川旅館	23-0117
高鍋第一ホテル	23-0111
ビジネスホテル黒木	22-4858
ビジネスホテルふじや	22-5810

# 高鍋町のイベント情報

## ◆舞鶴公園桜まつり

3月下旬から4月上旬に舞鶴公園をメイン会場に開催されるまつりです。公園内には多くの桜の花が咲き、花見客でにぎわいます。また、期間中はライトアップされた夜桜を見ることが出来ます。



物産展や各種イベントが開催されます。

## ◆高鍋城灯籠まつり

高鍋の誇り、名君「秋月種茂公」が設立した藩校「明倫堂」の教えを育む祭りです。参加者の手によって一萬基を超える灯籠、一つ一つに明かりが灯されていくと町中が幻想的な雰囲気になります。

高鍋町を代表する祭りとして「宮崎県一村一祭」に選定されています。



## ◆夏祭り

八坂・鞆戸・立花 火産霊、4つの神社の夏の祭りが祭礼日をかえて行われます。神輿や太鼓台が町内をねり歩く姿は勇壮で7月の高鍋は祭り一色に染まります。



## ◆餃子フェス in 高鍋

高鍋町内はもろろん県内外の人気餃子店が集結し、各地の名物餃子を楽しむことができます。

また、毎月3日の「餃子の日」では、高鍋町内の餃子店で様々なサービスを提供しています。

## 問い合わせ先

餃子のまち高鍋推進協議会

TEL 0983-22-1311



## ◆イベントカレンダー

1月 カキ小屋

3月 舞鶴ロードレース大会

7月 海水浴場開設

夏祭り

八坂・鞆戸・立花 火産霊  
ピーチクリン

10月 高鍋城灯籠まつり

11月 古墳祭

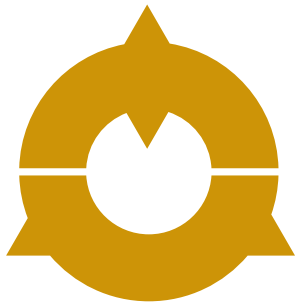
餃子フェス in 高鍋



厳かな雰囲気の中、進む点灯式。



町内の子どもたちによる紙灯籠。



町章



【町花】 ナadeshiko



【町木】 タカナベカイドウ



【町木】 モクセイ

## 観光についてのお問い合わせ先



### 認定NPO法人 高鍋町観光協会

〒884-0002

宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋5198番地

TEL (0983) 22-5588

FAX (0983) 22-5821

<http://www.kankou-takanabe.com/>

### 高鍋町役場地域政策課商工観光係

〒884-8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地

TEL (0983) 26-2015 FAX (0983) 23-6303

<http://www.town.takanabe.lg.jp/>

## 高鍋町観光サイト

宮崎空港からアクセスが良く、宮崎県の中央に位置する海沿いの町、高鍋。

宮崎・高鍋は、アクセスだけではなく、気候も温暖で1年を通して過ごしやすく、充実した食が楽しめ、長い歴史があり、自然に囲まれた、ほっと落ち着ける町です。

そんな高鍋の素晴らしさを、「食」、「買」、「観」、「遊」に集めました。

